

1.準備

- ・出発時間に注意(ラッシュアワーは避ける)
- ・切符は事前に買っておく。直前だと人が混んでいて購入に時間がかかることがある。フェリーの乗船券の場合は最低2日前に買っておく。前日には買えないことがある。
- ・特急に乗車する際はできるだけ指定券にする(始発から乗るなら別に自由席でも構わない)
- ・乗換え時間に注意 例えば名古屋駅での近鉄 新幹線
- ・土産はキーホルダ、地図、絵物(絵葉書)などかさばらないものを選ぶ。
- ・Yahoo!天気予報等の天気予報サイトを見て、折畳み傘を持っていくかどうか決める。
- ・荷物はなるべく一箇所に集めておく。
- ・鞆を2つ用意する。一つは衣類などを入れたもの。もう一つは車内で作業をするために必要なものを入れておく。
- ・地図がない場合、図書館でコピー。あるいはマピオン、MapFanのホームページをプリントアウト。
- ・携行品リストを携帯コンピュータにコピーしておく。
- ・バス乗り場、乗車券売り場、地下鉄入り口などを地図で調べておく。特にバス停

の位置は要チェック

- ・事前に野口悠紀雄『超旅行法』を読んでおく。

2.重要品

- ・学生証、財布、自宅玄関の合鍵、切符
- ・財布には最低 ¥10000 は入れておくこと。(小銭の用意も)

3.雑

- ・必携：腕時計、ハンカチ、ちり紙、土産物
- ・場合に応じて：折畳み傘、目覚まし時計、携帯バッグ、衣類袋
- ・ちり紙は一袋では駄目。
- ・ハンカチは自宅出発前にきれいかどうか、確認しておく。
- ・衣類袋は複数枚持っていくと便利。

4.洗面用具

- ・シャンプー、石鹸、歯磨きセット、スポンジ、バスタオル
- ・スポンジ以外は大体宿泊施設にて用意されている。

5.文房具/その他

- ・必携：ボールペン、地図、時刻表、連絡先電話番号簿、手帳、保険証(コピー) 必要書類、To-Do ボード、メガネ、メガネケース、テレホンカード
- ・場合に応じて：シャープペン、シン、消

- しゴム、封筒、三文判、紙、ガイドマップ(『るるぶ』『Walker』『びあ』等)、マイクロカセットレコーダ、マイクロカセットテープ、予備電池、カメラ、予備フィルム、携帯コンピュータ、電子手帳、本(文庫本)、懐中電灯、スリッパ
- ・ガイドマップは土産情報に強いもの
- ・携帯コンピュータの予備電池は単3のアルカリ電池4本
- ・地図は携帯用のものを持っていく。3大都市圏は「びあマップ文庫」で十分。
- ・書類は封筒に入れておく。
- ・現地でドライブの場合：免許証、道路地図

6.衣類

- ・帽子、パジャマ、着替え(注意：シャツ、靴下 数を間違えるべからず)
- ・Tシャツは部屋着にも使えて便利